

全国市長会 会長立候補者

東北支部	相馬市長	<small>たち</small> 立	<small>や</small> 谷	<small>ひで</small> 秀	<small>きよ</small> 清
中国支部	総社市長	<small>かた</small> 片	<small>おか</small> 岡	<small>そう</small> 聡	<small>いち</small> 一

東北支部 相馬市長 立 谷 秀 清

全国市長会会長立候補者の支部推薦について

このたび、全国市長会東北支部は、次期全国市長会会長候補者の最適者として、現在の全国市長会会長である 福島県相馬市長 立谷秀清 君を推薦することに決定いたしました。

立谷秀清君は、平成七年から県議会議員一期を務められた後、平成十四年に相馬市長に初当選されて以来、多くの市民の信任を得て、現在は六期目の任期を担われ、市民協働による健全な基礎自治体づくり、安心な子育て環境の整備と心豊かなひとづくり、地域特性を活かした良質な産業づくりなどに邁進しておられます。

平成二十六年一月には福島県市長会会長に就任。平成二十八年六月から全国市長会副会長(災害復興担当)を二期務められた後、平成三十年六月からは全国市長会会長に就任し、これまで培われた極めて豊富な行政経験を踏まえ、防災・減災対策、子ども・子育て等福祉・医療・教育の充実、地域医療対策など、喫緊の諸課題に対して卓越した手腕を発揮されてまいりました。

具体的には、災害発生時の自治体間の支援体制及び、国土交通省地方整備局長とのホットラインを構築するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に自らの医師としての専門的知見をもって、国と予防・治療の対策を協議し、自治体の重要な課題であるワクチンの供給・接種対策、財源対策などを着実に実施してきたことは、各市区長の皆さま御存知のとおりであります。

今日、地方創生への取組をはじめ、人口減少、少子高齢化の大きな波の中で、都市インフラの老朽化、社会保障の問題、頻発する自然災害への対応など、自治体の果たすべき役割はこれまで以上に拡大しております。

我々都市自治体は自らに課せられた役割を十分に認識し、一致団結して山積する課題の一つひとつに対して、真正面から取り組んでいかなければなりません。

この実現のため、日本最大の政策団体としての全国市長会が、今後とも団結して国への要請活動を継続していくことが重要であります。

そのためには、極めて豊富な経験に裏打ちされた行政手腕、きめ細かな調整能力、そして何よりも基礎自治体が最も重要であるという「地域主権」に対する熱い思いを持つ立谷秀清君に引き続き全国市長会会長をお願いし、リーダーシップを発揮していただくことが最良であると考えます。

つきましては、全国市長会各支部長をはじめ全国の市長、特別区の区長の皆様におかれましては、相馬市長 立谷秀清 君を全国市長会会長として御選任賜りますよう御理解、御協力をお願い申し上げます。

令和四年二月二十二日

全国市長会東北支部長

東北市長会会長

秋田市長

穂積



全国市長会長に就任させていただいて以来、多くの志のある優秀な市区長各位のご意見を拝聴してきました。我々は地方政府として、最前線で国民に密着し、その生命と生活を守る責任を持つべき主体であることを痛感した四年間でした。

その責務を全うするためには、最大の支援者であるべき国に対し、日本最大の政策団体として積極的に要請活動を展開し、その実現の為に国と政策論議をして住民福祉の推進を成すことが、全国市長会の最大の目標と考えて活動して参りました。

一方、我々はお互いに助け合いながら、地域内の都市自治体間で絆を深め、さらに広域的連携を発展させていくことも、全国市長会の大きな役割です。洪水、地震、土砂崩れなどの災害の際にはいち早く、近隣都市自治体からは支援を敢行し、次に被災自治体を取り巻く全国市長会の広域的支援体制により災害対策に積極的に援助・協力し、被災都市自治体の危機的状況に心を寄せてきました。都市自治体の長としての責任の重大さを、身をもって体験している我々だからこそ、被災市区長の心情を理解するのです。

そして国土交通省地方整備局長とのホットラインにより、的確かつ速やかに国の支援を引き出すことなどは、全国市長会からの国への政策要望が、国民生活にとって極めて有意義な成果を挙げた好例でした。

また我々は、時には全体で協力・団結して国と協議し、要請活動をする必要を痛感しております。幼児教育・保育の無償化問題の際には、全国の市区長各位が一斉に声を挙げ、適切な財源の交付、P D C A協議体制の設置など、国を動かすことが出来たのは日本最大の政策団体としての連携の成果です。

この二年間、私は全国市長会を代表して、新型コロナ対策と向き合ってきました。厚生労働省との定期的な会議を設けて技術的な方法論を協議するとともに、国と地方の協議の場で、ワクチン供給と財源要望を強力に申し上げて参りました。新型コロナに対しては継続的に我々市区長の立場を主張する必要があります。さらに、医療格差を助長しかねない新専門医制度と、地域医療を崩壊しかねない医師の偏在問題についても、厳しく対応を迫っていくことが重要です。

全国市長会としては以上の問題のほかにも、市区長各位からご要望をいただいている諸課題が山積しているなか、この度、東北市長会から引き続き会長職の任にあたり、諸課題の解決に努めよとのご推薦を賜り、受諾させていただいた次第です。

市区長各位のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年二月

福島県相馬市長 立谷 秀清

履 歴 書

相馬市長 立^{たち}谷^や秀^{ひで}清^{きよ}

生年月 昭和 26 年 6 月
出身地 福島県 相馬市
血液型 O 型
趣味 カメラ (全日本写真連盟会員)
就任 1 期 平成 14.1.19～18.1.18
2 期 平成 18.1.19～22.1.18
3 期 平成 22.1.19～26.1.18
4 期 平成 26.1.19～30.1.18
5 期 平成 30.1.19～令和 4.1.18
6 期 令和 4.1.19～

学 歴

昭和 52 年 3 月 福島県立医科大学医学部卒業

経 歴

昭和 52 年 6 月 医師免許取得第 236736 号
昭和 52 年 6 月 公立気仙沼総合病院 (現:気仙沼市立病院) にて初研修
昭和 54 年 4 月 東北大学医学部附属病院 (現:東北大学病院) 勤務
昭和 55 年 10 月 公立相馬病院(現:公立相馬総合病院)勤務
昭和 58 年 4 月 立谷内科医院開設
昭和 61 年 12 月 医療法人社団茶畑会立谷病院(現:相馬中央病院)理事長就任
平成 7 年 4 月 30 日 福島県議会議員 1 期
平成 14 年 1 月 19 日 相馬市長就任

※主な役職

全国市長会会長、福島県市長会会長、相馬地方市町村会会長、
全国医系市長会会長、道路整備促進期成同盟会全国協議会副会長、
東北地方港湾整備促進協議会副会長、
東京農業大学客員教授、医道審議会委員、
一般社団法人社会的包摂サポートセンター (よりそいホットライン) 理事、
地方を守る会代表幹事、低炭素な地域づくりに取り組む首長の会会長、
社会資本整備を考える首長の会会長、社会保障審議会委員

(令和 4 年 2 月 21 日現在)

立谷 秀清 自己紹介

○県議会議員一期を務めた後、平成14年に相馬市長に就任し、現在6期目。

○相馬市は、福島県の東北端に位置し東は太平洋に面している。1千有余年の歴史を誇る国重要無形民俗文化財・相馬野馬追や、相馬中村藩の城下町として国の重要文化財の相馬中村神社をはじめ大手門やお堀などが残っている。（人口約3万5千人、面積197.79km²）

○平成14年 1月 相馬市長 就任

○平成26年 1月 福島県市長会会長 就任

○平成26年 1月 全国市長会副会長 就任

○平成28年 6月 全国市長会副会長（災害復興担当）就任

○平成30年 6月 全国市長会会長 就任 ※現在2期目

○主な公職等

全国市長会会長、福島県市長会会長、相馬地方市町村会会長、
全国医系市長会会長、道路整備促進期成同盟会全国協議会副会長、
東北地方港湾整備促進協議会副会長、東京農業大学客員教授、
医道審議会委員、一般社団法人社会的包摂サポートセンター（よりそいホットライン）理事、地方を守る会代表幹事、低炭素な地域づくりに取り組む首長の会会長、社会資本整備を考える首長の会会長、社会保障審議会委員

中国支部 総社市長

かた おか そう いち
片 岡 聡 一

全国市長会会長立候補者の支部推薦について

この度、全国市長会中国支部は、次期全国市長会会長候補として、現在の全国市長会経済委員会委員長であります岡山県総社市長片岡聡一君を推薦することに決定いたしました。

片岡聡一君は、平成十九年に総社市長に初当選されて以来、類まれなりーターシップをもって市政を推進され、多くの市民の信頼を得て、令和元年からは四期目の任期を担われています。

この間、「障がい者千人雇用」の達成後の千五百人雇用の推進や「子育て王国そうじや」をスローガンにした子育て支援、生活密着型のデマンド交通「雪舟くん」の運行など、住民本位の施策を全力で推進され、少子高齢化が進展する中において、総社市の人口は着実に増加しているとのことです。

また、西日本の広範囲において、甚大な被害が発生した平成三十年七月豪雨においては、人命救助を最優先するとともに、被災者支援や復旧・復興にスピード感をもって取り組み、さらには、全国各地で大規模な災害が頻発する中、被災地への積極的な人的・物的支援を実行しておられます。

加えて、平成二十九年六月には、全国市長会経済委員会委員長に、同年八月には、全国空き家対策推進協議会会長に就任され、国に対し、様々な制度の改革や改善について、地域の実態を踏まえた要請活動を強力に推進してこられました。

平成三十一年四月には、岡山県市長会会長に就任され、持ち前の行動力を活かし、先頭に立って、課題の解決に向けてその手腕を発揮されたところです。

現在、我が国は、コロナ禍という暗雲に覆われています。

この難局を乗り越え、感染防止対策と日常生活の回復を両立させながら、地域経済を活性化させ、アフターコロナの逞しい成長につなげていかなければなりません。

さらには、地方創生の推進、地方分権改革、国土強靱化、子ども子育て等の福祉・教育の充実、デジタル化の推進等々、自治体の抱える課題は山積しており、全国八百十五の市と区が一致団結し、国に強く働きかけていく必要があります。

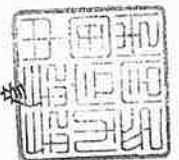
私は、片岡聡一君の熱い情熱と豊富な経験、卓越した手腕は、必ずや皆様方のご期待に応えられるものと確信しているところでございます。

つきましては、ここに全国市長会各支部長をはじめ、全国の市区長各位の格段の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年三月二十八日

全国市長会中国支部長
中国市長会会長
岩国市長

福田良彦



所信表明

私は全国市長会をこよなく愛しております。その一員にさせていただいて四年の月日が流れました。毎日毎日昼夜問わず走りまわっていたら、なんと長い月日が積み重なっていたことでしょうか。

私自身、片時も気を緩めたことはありません。常に新しいものに挑戦し、挫折と涙を繰り返しながら一人ひとりの市民に寄り添ってまいりました。

そしてそれ以上に各市区長の皆様方におかれましては、ロシアのウクライナ侵攻という衝撃的なニュースを抱えながら、市区民のために連日のコロナ対策、そしていつ来るか分からない災害に対し全責任を負いながら連日連夜のご奮闘に心から敬意を表します。

今回浅学非才の身でありながら、会則の定めるところに従い、会長選挙に立候補させていただきます。

今や基礎自治体はこのコロナで象徴されるように、現場最前線に立ち、政府が行う政策を身を張って実行せしめる全国最大規模の地方政府であり、最も重要な地域組織です。そして、災害有事の際でもその責任の全てを負う我が国で一番大きな組織体です。

しかし、ともすればその現場の声や痛みが政府に届かず、我々が理不尽な思いを味わうこともしばしばです。コロナや災害だけでなく、子育て・介護・教育・道路・公園の建設にいたるまで、人が生きていく上で、生活をしていく上で最も大切な職務を遂行する我々の思いが伝わらないのは忤怩たる思いがします。

我々が全国市長会として、さらに強化しなければならないポイントは、「スピード」、「突破力」そして全市区長が参加して力を出し合えることができる「総力戦」です。幸い私は、行動力と突破力には自信があります。この持ち味を活かし、全国市長会を大きく変革していきたいと思っております。

全国八一五市区という大所帯ゆえ、スピード感そして全員参加の総力戦ということはなかなか難しいテーマかもしれませんが、これから各市区長に意見がスピーディに伝わる新たなルール、そしてすべての市区長が役割を持ち、総力戦といえるだけの仕組みづくりをU25の機能を使いながら斬新に進めていきたいと考えております。

そして、すべての市区長が全国市長会を通じ、最も重要な情報を素早く掴み取り、それを基に、政府とのスピード感溢れる議論につなげていきたい。そしてその際には突破力を持ち、総力戦で戦えるだけの態勢を整えてまいりたいと思います。

最後に、我々は理想とそれを実現する行動力を兼ね備えた人材が揃った政策集団であると言えます。世代交代を促し、皆で時の針を動かして参りましょう。新たな人材を登用し、そして多くの市区民が参画できる組織のあり方を模索し、自由に発言できる新しい全国市長会をつくっていきたいと思います。こうした考えのもとに、皆で一致団結して新しい全国市長会をつくらうではありませんか。

私のようなものがお役に立てるのであれば存分にお使いいただきたいと覚悟いたしておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

最後に、日本全国の最前線で大活躍しているすべての市区長様のご健勝と貴市区のご隆盛を心よりお祈り申し上げ、所信表明といたします。

令和四年二月二十一日

岡山県総社市長
岡田 隆

片岡 聡一 (かたおか そういち) 履歴書

昭和34年	8月	岡山県総社市に生まれる
昭和47年	3月	岡山県総社市立秦小学校卒業
昭和50年	3月	岡山県総社市立総社中学校卒業
昭和53年	3月	岡山県立総社高等学校卒業
昭和59年	3月	青山学院大学法学部卒業
昭和59年	4月	橋本龍太郎事務所入所
平成8年	1月	内閣総理大臣公設第一秘書に就任
平成12年	12月	内閣府行政改革・沖縄北方担当大臣秘書官に就任
平成19年	10月	総社市長に就任
平成22年	11月	倉敷芸術科学大学客員教授に就任
平成23年	10月	総社市長2期目就任
平成27年	10月	総社市長3期目就任
平成29年	6月～	全国市長会 経済委員長に就任
平成29年	8月～	全国空き家対策推進協議会 会長に就任
平成30年	5月～	中小企業政策審議会委員に就任
平成31年	4月～	岡山県市長会 会長に就任 (令和3年4月まで)
令和元年	10月～	総社市長4期目就任

片岡 聡一（かたおか そういち） 自己紹介

- 衆議院議員 故橋本龍太郎氏の事務所へ入所後、第82代内閣総理大臣公設第一秘書に就任。
 - 内閣府行政改革・沖縄北方担当大臣秘書官に就任し、総理大臣を支える。
 - 事務所を退所後、平成19年に総社市長に就任し、現在4期目。
 - 就任後から行財政改革に着手しつつ、市役所の古い体制も刷新。
 - 平成23年には、「総社市障がい者千人雇用推進条例」を制定。障がい者の就労支援で先進的な取り組みを行い、平成29年5月29日に目標の千人達成。達成後はさらに千五百人雇用を目標に掲げている。平成30年6月には、この障がい者施策がWHOに認められ、インドニューデリーで開催された国際会議へ招聘される。
 - このほかにも、市内どこでも300円でタクシー「雪舟くん」や、自らが代表を務める農業公社の設立、英語・定住特区構想などに取り組んでいる。
 - 平成25年には、全国に先駆け「総社市大規模災害被災地支援に関する条例」また、平成29年に「総社市大規模災害被災者の受入れに関する条例」を制定し、新たな災害支援の形を構築する。
 - 平成30年7月に発生した西日本豪雨において、総社市も被災地となる。全国初となる行政主導のペット避難所を開設。また、総社流のフリーマーケット方式で支援物資を提供するなど、復興に向けていち早く独自の災害対策を実施。
 - 令和元年、中四国で初めて「同性パートナーシップ制度」を導入。また、令和3年には「ファミリーシップ制度」も導入するなど、AMDAや市内の企業など他団体との連携により多様化するニーズに応えるべく、地域の多文化共生推進に一層力を入れている。
-
- 信条 「迷ったときは、困難な道を選べ！」
 - 趣味 男の料理、ピアノの弾き語り
 - 家族 妻、長男

令和4年度正副会長選考スケジュール（案）

（令和4年4月13日
正副会長候補者選考委員会 決定）

- 3月31日（木） 会長立候補に係る書類等（※）の提出締切日
〔※ 支部の推薦書、立候補者本人の所信表明文、履歴書、
写真、自己紹介、政見動画〕
- 4月1日（金） 会長立候補者推薦書等の受理を支部長及び都道府県市長会会長をはじめ全市区長に通知

《会長立候補者》

東北支部	相馬市長	立谷秀清氏
中国支部	総社市長	片岡聡一氏

- 4月13日（水） 正副会長候補者選考委員会
・会長立候補者の確認、選考の方法、日程等の協議
- 5月16日（月） 正副会長候補者選考委員会
・選挙執行手続きの決定
- 5月17日（火） 投票者となる支部長及び都道府県市長会会長
（欠けている場合は、当該支部及び当該都道府県を代表する市長）に投票用紙を発送
- 5月25日（水） 投票締切日
- 5月27日（金） 正副会長候補者選考委員会
・投票管理者立会いのもと開票・集計
・有効投票の最多数を得た者を総会に推挙する会長候補者として選考
・総会に推挙する副会長候補者（支部長推薦）を選考
- 6月1日（水） 全国市長会第92回全国市長会議（総会）
・会長候補者を総会に推挙
・副会長候補者を総会に推挙

《会長から副会長候補者の推薦がある場合》

- 正副会長候補者選考委員会（総会を暫時中断し開催）
・総会に推挙する副会長候補者（会長推薦）を選考